

事業 029	事務 事業名	ブランド化推進事業費				担当 部署	部名	産業経済部
							課名	商工観光課
		開始年度	平成 19 年度	終了年度	-	電話	82 - 1958	
総合 計画	事業期間					予算 科目	会計	一般会計
	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 1 節 射水ブランドの創造					目	商工総務費
実施計画掲載		有	20 頁	個別計画	射水市観光・ブランド戦略プラン			
根拠法令・要綱等								

事業 目的	対象 誰を・何を	全市民、市内事業者及び市外、県外の住民					
	意図 どのような 状態に	射水市が持つ地域資源の良さに市民一人ひとりが気づき、地域に誇りを持ち、情報を発信する。また、射水市のイメージ及び認知の向上を図る。					
事業 内容	手段 どのような 方法で	地域イメージの向上及び地域経済を活性化させる事業全般					
		・射水ブランド推進に関する戦略・戦術構築及び実施 ・射水ブランドロゴマークの活用 ・射水ブランドの発信					

補助 金事 業	類型区分						
	補助 内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				

施設 管理 運 営 事 業	施設名					管理形態			
						指定管理者名			
	構造・階数					指定管理期間			
	建築年度			改修年度			類似施設状況		
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況		
設備・規模									

施設 等 整 備 事 業	総事業費	財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	整備内容						

その他	特記事項等						
-----	-------	--	--	--	--	--	--

事業	029	事務事業名	ブランド化推進事業費	担当課	商工観光課
----	-----	-------	------------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H23年度実績	H24年度			H25年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	地域ブランド調査(株)地域ブランド研究所)認知度	点	8.2	10.0	10.3	103.0	12.0
	上記認知度の順位(全国1,000の市区町村中)	位	827	800	754	106.1	700
活動指標	ブランドロゴマーク民間活用数	件	20	40	48	120.0	50

		平成23年度決算	平成24年度決算	伸率	平成25年度予算
事業費・人件費	直接事業費	1,566 千円	1,062 千円	32.2	2,131 千円
	うち臨時職員人件費	千円	千円		千円
	正規職員人件費相当額	6,460 千円	5,372 千円	16.8	5,372 千円
	退職手当引当金相当額	903 千円	751 千円	16.8	751 千円
	事業コスト計	8,929 千円	7,185 千円	19.5	8,254 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	655 千円	505 千円	22.9
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	8,274 千円	6,680 千円	19.3	7,696 千円
当該事務従事職員数	正規職員	0.95 人	0.79 人	16.8	0.79 人
	臨時職員	人	人		人
利用者1人当たりコスト		-	-		
うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説 明
必要性	4	合併により新設された新たな市であることから、全国的にも市名の認知度がまだ低い。地域間競争が激しさを増している中で、地域の独自性、個性を明確に打ち出し、射水市の魅力を全国に発信する上で地域ブランドへの取組が重要である。
有効性	3	射水ブランドへの取組を継続的に実施し、各種施策を複合的に結びつけ、認知度を高めるため、長期的視野で実施することが必要である。
達成度	4	全ての活動指標において目標を達成しているが、全国的な認知度は低いことから、さらに各種施策を有効に連携させ、地域経済の活性化及び地域イメージの向上に努める必要がある。
効率性	4	県等の補助を活用しながら、限られた事業費の中で有効に事業を実施している。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
射水ブランドの認知度は少しずつ高まってきており、今後も射水市観光・ブランド戦略プランに基づき取組を進めていく。成果を上げるためには、継続した取組が必要であると考えられる。					